

2024年度 第3回理事会議事録

日時 2024年11月21日 19:00～
場所 WEBミーティング

《出席者》

加藤木(会長/前橋保健所),番場(副会長/あじさい),福永(副会長/ケ・クリニック),富澤(西毛HP),永尾(赤城高原HP),中島(高崎社協),工藤(上毛HP),片山(アルカディア),小林(あぜりあ),小池(田中HP),天笠(監事/三枚橋HP)
林(支部長/大島HP),白鳥(代議員/高健大)
狩野(事務局長/田中HP),原島,藤井(事務局/田中HP)

1. 会長挨拶

みなさん、お疲れ様です。基幹研修Ⅱの挨拶でもお伝えしたが、中小企業のストレスチェックが現在の努力義務から、義務化の流れにあるようだ。メンタルヘルスに関して社会的に認知度が上がるのではないかな。

先日、小中学校の学年主任向けにメンタルヘルス、自殺対策、自傷のことなどを話してきた。前橋市内の小中学校から80名程度の参加があった。熱心に聞いていただきグループワークも行った。メンタルヘルスの広がりが様々な場所で認知され、加速してきている。それに対応していかなければならないし、それだけ対応できるのかという問題も同時に出てくる。そういった社会情勢であることを知っておかなければならないと感じた。

本日もよろしくお祈りします。

2. 日本精神保健福祉士協会関連

【報告事項】

① 関東甲信越ブロック会議/林支部長、白鳥代議員

- 10月20日開催された。後日資料を共有する。
 - 法改正、診療報酬、障害福祉サービス事業所内の課題など。医療保護入院の退院支援会議が増えているためこの病院もバタバタしているようだ。退院支援加算など精神保健福祉士が配置されて算定できるようになっているが、加算を算定できる人がほとんどいないという話があった。
 - 報酬のメリットの割にはコストが上回り過ぎ、報酬を取っていたら仕事が回らない。背景には人材不足がある。限られた人材のなかで丁寧にやりたいが効率性を求めなければならない。そうすると逆に加算が算定できないという話があった。
 - 精神保健福祉士の養成機関がなくなっている。資格者は定期的に増えているが若手の人が増えない。採用募集を出しても人が集まらない、かなり厳しい状況であることが、初めてブロック会議で話し合われた。他の都道府県も同じような状況なのでは、という印象をもった。
 - 立教大学は社会福祉士の養成コースは残しても精神保健福祉士の養成コースは残さないという。どうやったら若手の学生に興味関心を向かせるか。学生会員を増やしていくことからやっていかないといけないのではと話も出ていた。
 - 国賠の話も出た。裁判では弾かれている。議論の的が、強制入院がなされていたことよりも、医療的判断で医療保護にした、と。医療保護入院の人は退院請求できるではないか、そういう制度があるではないか、本人が退院したければできる体制に精神科病院はあるというのが裁判の論点。本人は家族のため病院にいなければならないなかった、退院したいけど行動できなかった背景があった。そういうところをくみ取ってもらえない、という状況の中で結審した。
 - 国賠裁判を応援している大学教員の人によれば、通常人権裁判は裁判官が審判を述べるときにそれ相当の時間をかけるが、ものの5分程度、事務的に終わってしまった、と。退院請求という制度があったのになぜ使わなかったのか、心理的背景などに対して一顧だにせず淡々と処理された、という印象を持っている。退院請求の案内が壁に貼ってあった、それでいいのか。それに手を伸ばせない患者さんがいるのではないかな。寄り添い的なところがこれからのソーシャルワークの課題になるのでは、という話があった。
 - 認定精神保健福祉士の研修が年度末にあるので周知をしてほしいという依頼があった。
 - 今年から学生会員は会費が無料になっている。HPや研修場面で協力を要請したいとのこと。若手が入らない。セカンドキャリアの人は入ってくるが、これまで学生会員からは学生価格で会費を払ってもらっていた。
- 群馬支部内でチラシを共有し学生会員に入ってくださいよう促進したい。学生会員の25%はその後正式入会してもらっているとデータがある。学生会員、無料になったら入会者が増えている。現在の構成員が

12,000人。これを15,000人に構成員を増やしたい。実習生などにもこういったものがあると知らせてほしい。入会は基本単年度。

- ・代議員についても新人代議員が集まる会が1月にある。

3.群馬県精神保健福祉士会関連

1【事務局報告】

① 入退会報告（前回理事会より本日まで）

- ・入会者2名 会費は1名未納
- ・退会者1名 会費納入済み
○承認
- ・8月31日が今年度会費納入期限だった。3年未納で資格喪失退会となる。
前回理事会でも報告済みだが、3年以上未納者複数名いる。5年未納者もいる。退会希望者で未納ある方が退会処理できていない方が3名ある状況。
→各ブロック担当理事で対応、理事で心あたりのない方は事務局で対応していく。

② 派遣依頼

- ・利根沼田地域障害支援区分認定審査会委員 番場祐太さん(あけぼの)
前橋市自立支援給付認定審査会 鈴木秀夫さん(群馬医療福祉大)、中島基彰さん(高崎市社協)
○承認

③ 周知依頼

- ・陶芸個展 相談支援事業所ピアーズ 相談支援門員の方からの依頼
- ・司法SW研究集会 in 名古屋 日本福祉大学からの依頼
→それぞれML、LINEWORKS、SNSで発信
- ・こども家庭庁より送付されてきた、ヤングケアラー関係のチラシは本日発送の郵便物に同封した。

2【各委員会からの報告・協議事項】

① ネットワーク強化委員会 詳細は報告書参照

- ・前回10月1日以降、会議なし。
- ・高崎地域ケアフェスティバルが11月24日、高崎市保健センターで開催予定。資料提供団体ということで、以前作成したチラシを修正し当日、資料として置かれる。昨年使用した動画を今年度も使用したいと連絡があった。

② 教育研修委員会 詳細は報告書参照

- ・11月3日(日)第2回研修会を開催した。オープンダイアログを行った。参加者29名、会員20名、その他9名。会員外の方からは参加費2,000円を徴収した。アンケートでは好評をいただいた。
- ・第6回委員会は11月26日開催。その次は1月中頃開催予定。
- ・2025年2月9日(日)群馬県勤労福祉センター第4会議室にて第3回研修会を行う。就労支援にかかわっている方に話していただく予定。チラシは1月定例会案内発送に間に合うように作成する。

<検討事項>

- ・第2回研修時に借りた県士会用プロジェクタが、HDMI端子が使用できなかったため、委員所有のPCと接続できなかった。委員のPCはVGA端子が使用できないものだった。そのため、講師の方のPCを接続して使用した。
→これまでは事務局長私物の変換端子を使用していたが、それが紛失してしまった。事務局からプロジェクタに接続できるPCを貸し出すこともできる。
→私物を使用するのではなく、県士会用として変換機を購入しては。

○承認

③ 災害支援委員会 詳細は報告書参照

- ・次回12月12日会議予定。土業団体の件については委員会で検討したい。2月に研修で調整している。次回理事会には報告できるようにしたい。

<検討事項>

委員からDWATの対応。能登半島地震への災害派遣に関して、隊員の活動に対する費用が支払われることになったが、所属先から承認を得られないためその費用を受け取れない状況があるとの話があった。

- DWAT隊員に登録するには専門職団体が推薦する必要があり、加えて身分の保証ということで所属している職場の同意を得ることが条件になっている。今回のケースは、もともと所属していた職場で同意を得ていたが転職したことにより状況が変わってしまった。
 - 職場からDWAT活動に理解が得られない旨DWAT事務局に相談したところ、当会による手続により受可能であるとDWAT事務局から提案があった。
 - 当会で受領に必要な手続きを行って良いか。
 - 法的に問題がなければ良いのでは
 - 支払いについての仕組み自体を、社協に検討してもらう必要があるのでは
- 承認
- 今後も同様のケースが想定され得るため、事務局から対応についてDWAT事務局へ確認を行う。

④ 司法ソーシャルワーク委員会 詳細は報告書参照

11月7日に第4回委員会開催。ぐんま・つなごうネット、検察からの依頼の活動も継続している。11月30日(土)に勤労福祉会館で委員会の活動を県士会会員に知っていただくような研修を開催する。

⑤ ふれあいバザー委員会 報告書参照

委員会開催。次回準備化にあたり、当会の方向性について検討。

開催場所の変更について、広く地域への普及啓発について、県庁以外の商業スペースでの開催を押し進めたい。道の駅あかぎの利用料は費用負担が高かった。県が抑えると安価で抑えられるスマーク伊勢崎が良いのではと考えている。来年度以降の話になるが、ステージ企画などを当会が担当していこう、というところで、協力員を募集したり、するなど来年度は予算計上していきたい、と話し合った。

⑥ 基幹研修委員会

- 基幹研修Ⅱを10月26日Gメッセで開催した。定員80名だったが修了者31名だった。基幹研修Ⅱは初めての開催だったため、Ⅰの時よりも1回打ち合わせを多く行った。アンケート結果は好評だった。今回は経験10年、20年といったベテランが多かった。受講費も徴収していたため学ぼうという意識が高く、演習でも参加者の力が高かった。テキストの読み上げが多かったという意見もあった。
- 長野から応援にグループリーダーとして2名来県いただいた。次回、群馬県にも要請があったら参加しなくては。講師をつとめる人も委員以外から出ても良いのでは。
- 来年度は基幹研修Ⅰを11月15日(土)開催予定。初回打ち合わせ6月27日を予定している。
- 日本協会への報告書は事務局から提出する。黒字2万円程度。講師交通費が想定よりもかからなかった。

⑦ 政策提言委員会 報告事項なし

⑧ 広報委員会

- 広報誌、Zoomサロン等具体的に決まらないまま来てしまった。近いうちに検討会議を開き、報告したい。
- 以前作成した3つ折りの県士会パンフレットの在庫が100を切っている。
 - デジタルパンフがあっても良いのでは。検討していただきたい。

⑨ 倫理委員会 詳細は別紙参照

- 全体研修の内容については昨年度と同様を考えている。ジレンマあるあるについて話してもらうことを検討している。
- 会員に委員会の方向性などが伝わっていないのでは、という指摘があった。倫理委員会の目指しているものを動画にしてHPに上げるのも良いのではというアイデアもあった。各都道府県の倫理委員会の取り組みについてもリサーチするなど意見が出ている。
- アンケート結果を公表しないと決めた。

3 【その他】

① ブロック別定例会

東部 12月20日(金)14:00~16:00 県立医療センター今井先生にゲーム依存について講義いただく
中部 西部と合同で懇親会を開催予定。1月24日(金)会場未定。調整でき次第ML等で告知する
北部 12月13日(金)映画鑑賞、情報交換会 上毛HP会議室

② 関東支部長懇談会

- 報告書が来ていないが各県の取り組みについて・栃木県…大学生に精神保健福祉士がこういうことをやっているよ、と伝えることも大事だが小中高生から伝えていくことが必要なのでは。教育委員会から中学校に精神保健福祉士について説明してほしいと依頼があったとのこと。文科省の人も見に来るらしい。
- 神奈川県…個別に声をかけて小中学校にメンタルヘルス関係の話をしに行っている

群馬県精神保健福祉士会

- ・東京都…協会事務局が引っ越しする
 - ・埼玉県…学術集会を毎年開催している。例年枠が埋まっていたが、最近はどんどん減っている。実践的なことを報告する場所を会員が求めているという状況。ぱっと見人が減ってきていると見えるが、いろいろ透けて見えるような気がする。ニーズと合わなくなってきたのでは。
- ③ 報告事項（理事会チャットで周知済みの内容のため、別途ご確認ください）
- 8月 出席 5日 群馬県ソーシャルワーカー連盟代表者会議
→加藤木会長・福永副会長・番場副会長
- 定例会 9日 第2回目定例会（東部・北部理事）精神保健福祉法 改正2024 のポイント
推薦 医療功労賞 →横田美和さん（サンピエール病院）
推薦 群馬県社会福祉協議会会長表彰 →鈴木慶三さん（西毛病院）→受賞決定
出席 21日 公明党群馬支部意見交換会 →林理事・加藤木会長
出席 30日 群馬県職域メンタルヘルス交流会
→白鳥代議員・加藤木会長 Zoom：福永副会長
- 出席 31日 日本協会 柏木昭名誉会長を偲ぶ会 →櫻井理事
推薦 精神医療審査会委員（追加） R6.9.1～ →佐藤晶彦さん（田中病院）
対応 駒澤大学 群馬県における実習先の聞き取り →加藤木会長
対応 福祉事業所の職員のメンタルケアについて →事務局原島
- 9月 研修会 1日 教育委員会
開催 甲信越上州情報交換会
→加藤木会長・福永副会長・番場副会長・林支部長・白鳥代議員・狩野事務局長
依頼 4日 研修会講師社会福祉士会障害福祉委員会 →林理事
参加 26日 暮らしとところの相談会（県&弁護士会） →工藤理事・加藤木会長
- 10月 出席 9日 群馬県ソーシャルワーカー連盟代表者会議
定例会 11日 メモの取り方講座 中部ブロック
派遣 11日 館林保健福祉事務所「水害想定・避難所設営訓練」→小湊恵三さん
開催 26日 基幹研修Ⅱ
- 11月 研修会 3日 教育委員会「オープンダイアログ」
研修会 11日 群馬司法書士会「こころの応急処置」 加藤木会長
会議 17日 関東支部長懇談会
研修会 23日 医療ソーシャルワーカー協会初任者研修 加藤木会長
研修会 30日 司法ソーシャルワーク委員会
- 12月 ブロック別定例会

④ その他

- ・片山理事…12月6日ピアのシンポジウムがあるのでよろしくをお願いします
- ・23条通報について警察に理解をしてもらおう、ところの健康センターが年1回各警察に研修を行っているとのこと

<事務局より>

- ・出欠確認など、レスポンスをいただけない方もいる。流れをどのようにしたほうが良いか。
- ・日程調整→調整さん→日程確定後出欠確認→Googleフォーム。WORKSでスケジュールも入れている。
- ・理事会用の報告書作成依頼をしているが、実際、報告のある委員会は半分くらい。
これらの手順、調整を回るタイミング、返事することが大変なのか、ご意見を伺いたい
→LINEWORKSの見落としがある。
- ・LINEWORKS登録をQRコードで行う登録の方法を作成した。定例会開催案内に含めた。未登録の方には声掛けをお願いしたい。
- ・ブロック定例会にはどのブロックでも参加可として案内を作成している。

<今後のスケジュール>

- ・次回理事会1月 前半
 - ・3月理事会が会長都合で難しいため2月末をお願いしたい。
- 議案書作成に必要な報告などをお願いしたい。3月中に報告、事業計画を作成、LINEWORKSで共有
- ・4月中頃に臨時理事会
 - ・4月中旬に議案書、開催案内送付

群馬県精神保健福祉士会

- 来年の総会は5月で予定したい。それが難しければ土日開催。

〈文責：原島〉